



第7回 全国高等専門学校
ディープラーニングコンテスト DCON 2026

二次審査 書類提出に向けた 確認事項と提出方法のご案内

DCON実行委員会事務局
(一般社団法人日本ディープラーニング協会)

2025年12月10日 (水)



二次審査 書類提出前の確認事項

二次審査にあたり重要な事項を集約しています

必ず確認してください

1. 二次審査書類の提出（期限厳守）

kintoneアプリを事前に見て入力仕様等を確認し、もれなく入力・登録をしましょう

- 二次審査にあたり必要な書類を指定された形式で指定された構成要素を含めて用意しましょう。指定した構成要素が含まれていない場合正しく審査ができません。この資料内で用意したセルフチェックを使い、十分に確認を行ってから提出をしましょう。
- 2026年1月13日（火）13:00の提出期限までにkintoneアプリが「審査中」ステータスとなっていない場合には提出とみなされません。必ずステータスの更新を行うように気を付けましょう。>>詳細は[こちら](#)

2. チームメンバー情報の再登録（期限厳守）

追加の登録項目（性別・連合チーム）があります。必ず追加入力・登録をしましょう。

- 二次審査書類提出前には必ず一次審査時のチームメンバー登録を確認し、最新情報に更新・追加してから提出するようお願いいたします。>>詳細は[こちら](#)

3. 提出物の禁止事項・ルールの確認、同意

あらかじめ内容を確認し、資料作成しましょう。提出アプリに同意チェック欄があります。

- 「 DCON2026 二次審査 提出物の禁止事項・ルール」を確認し、ルールを守って書類を作成し提出してください。ルールが守られていない場合には失格となります。>> 提出物の禁止事項は[こちら](#)

4. 二次審査・本選進出にあたっての確認事項の確認、同意

あらかじめ内容を確認しましょう。提出アプリに同意チェック欄があります。

- 二次審査（面談選考）を通過し本選出場となったチームには、起業家メンターの指導を受けていただくことが本選参加の条件となります。「 DCON2026 二次審査 参加にあたっての注意事項」を確認し、誠実に二次審査・メンター指導に対応することに同意のうえで二次審査書類の提出をお願いいたします。>> 詳細は[こちら](#)

5. アンケートに回答（全チーム必須）

資源提供・アドバイザー制度に関するアンケートに回答しましょう。

- 製作費3万円を含む資源提供をご利用いただく条件となっておりますため、必ずご回答をお願いいたします。回答項目が多いので、時間に余裕をもって先行して回答していただいて構いません。>>詳細は[こちら](#)

6. 面談審査に確実に参加できるよう、スケジュールを確保

面談候補日時のスケジュールを確認し、他の予定が入らないように調整しましょう。

- 二次審査（書類選考）に通過後、**二次審査（面談選考）が実施されます。必ず参加できるようにあらかじめ予定を確保してください。**期間中に面談が実施できない場合、書類のみでの選考となります。>>二次審査スケジュールは[こちら](#)

※ 面談選考実施予定：2月16日（月）～20日（金）8:00-9:00/16:30-19:00の時間帯

連絡先	1. メール： info@dcon.ai 2. Slack : #dcon_2026二次_全体連絡-事務局へ質問
問い合わせ対応時間	平日 9:00～18:00まで
年末年始休業	2025年12月26日（金）～2026年1月4日（日）

【留意事項】

- 回答までは原則1～2営業日いただきます。即時の対応はできません。
- 土日祝日（1月10日（土）～12日（月・祝）は休業日）、年末年始は休業により対応ができないため、翌営業日以降順次ご返信いたします。
- 上記以外の連絡先（スタッフへの個別DM等）への問い合わせは対応できない場合があります。ご注意ください。



二次審査書類提出について

提出締切 2026年1月13日（火）13:00 厳守

二次審査書類提出アプリについて

下記kintoneアプリより必要事項を記載・ファイル添付のうえご提出ください

▼二次審査書類提出にあたり利用するアプリはこちら▼

1. STEP1_チームメンバー登録【DCON2026】：<https://dcon.cybozu.com/k/6/>
2. 二次審査_STEP3_書類提出【DCON2026】：<https://dcon.cybozu.com/k/44/>
3. 二次審査_STEP4_資源提供活用アンケート【DCON2026】：<https://dcon.cybozu.com/k/50/>

＜提出締切＞ 2026年1月13日（火）13:00 厳守

【留意事項】

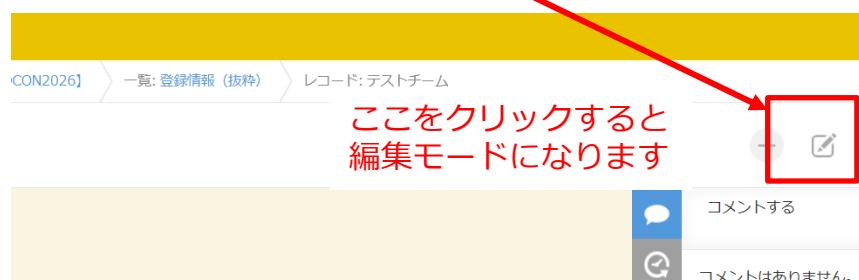
- 締切時刻までに提出アプリのステータスを「応募する」とし、「審査中」のステータスとなっている作品が審査対象です。締切時刻を過ぎて提出・ステータスの更新が行われた場合は受理することができません。時間にゆとりをもって **必ず締切時刻まで** にご提出ください。
- 締切時刻になり次第、本アプリも編集不可となります。

アプリの操作について

アプリの操作は基本的に一次審査のときと同様です。下記を参考に更新・提出してください。

STEP1 「STEP1_チームメンバー登録【DCON2026】」アプリを必ず確認・再登録する

一次審査時に提出した「STEP1_チームメンバー登録【DCON2026】」を必ず確認し、二次審査のアプリに入力をする前にチームメンバー登録の調整を行ってください。ご自身で登録したデータを開き、画面右上の鉛筆マークをクリックすると編集画面になりますので変更箇所を反映し、保存してください。



【追加】複数校での連合チームの方はこちらにチェックを入れてください。

代表者・氏名 *	代表者・かな氏名 *	代表者・生年月日 *	代表者・性別
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 回答しない・答えたくない
代表者・学校名 *	<input type="text"/> 取得 クリア		
代表者・所属学科 *	代表者・学年 *	<input type="text"/>	
代表者・メールアドレス *	代表者・電話番号 *	<input type="text"/>	
代表者・役割 *	<input type="text"/>		
<small>※複数校での連合チームの場合には以下にチェックを入れてください</small>			
<input type="checkbox"/> 複数校の連合チームである			

【追加】参加者情報の把握のため、チームメンバーの方の性別の項目を増やしています。チームメンバー全員分追記するようお願いいたします。

アプリの操作について

STEP2 「二次審査_STEP3_書類提出【DCON2026】」アプリにレコードを追加する

画面右上の「+」マークをクリックして二次審査書類の提出を行ってください。

提出物1～3、6はファイル添付、提出物4～5、7～8は必要なテキストの入力を行ってください（提出物の詳細は次ページ以降参照）。最後にページ上段の『保存』を押して保存してください。

The screenshot shows the DCON2026 application interface for document submission. At the top, there's a blue header bar with the title 'Secondary Review STEP3 Document Submission [DCON2026]'. Below it is a navigation bar with icons for home, search, and filters. The main content area displays a table with two rows of data. The first row contains columns for 'Record ID', 'Item 1', 'Item 2', 'Item 3', 'Item 4', 'Item 5', and 'Item 6'. The second row contains similar columns. In the top right corner of the main content area, there is a red box highlighting a large white '+' button. A red arrow points from the text above to this button.

【留意事項】

- 冒頭で「[DCON2026 二次審査 参加にあたっての注意事項](#)」と「[DCON2026 二次審査 提出物の禁止事項・ルール](#)」を必ず確認し、同意する方のみ二次審査書類の提出をお願いいたします。
- すべての項目が必須回答となります。「下書き中」保存も可能ですが保存時にすべての項目の入力が必要です。

アプリの操作について

STEP3 「二次審査_STEP3_書類提出【DCON2026】」アプリのステータスを更新する

1) 一次審査と同様にレコードの保存ができたら、ステータスの更新が必要です。
画面左上の『応募する』をクリックして『実行』を押してください。

重要!!

二次審査_STEP3_書類提出【DCON2026】

スペース: DCON2026/エントリーチーム アプリ: 二次審査_STEP3_書類提出【DCON2026】 一覧: (作業者が自分) レコード: 函館高専

応募する 無効にする 現在の作業者を変更

次のステータス
審査中

作業者を選ぶ
DCON実行委員会事務局

実行

2) ステータスが『審査中』になれば提出完了です！
ステータスが『審査中』になっていない場合には審査対象外となります、ご注意ください。

現在の作業者を変更

ステータス: 審査中 現在の作業者: DCON実行委員会事務局 ステータスの履歴

アプリの操作について

STEP4 「二次審査_STEP4_資源提供活用アンケート【DCON2026】」を回答する

一次審査を通過した全チームに資源提供・アドバイザー制度に関するアンケートにご回答いただきます。
製作費3万円を含む資源提供をご利用いただく条件となっておりますため、必ず回答をお願いいたします。
回答項目が多いので、時間に余裕をもって先行して回答していただいて構いません。

二次審査_STEP4_資源提供活用アンケート【DCON2026】

アプリ: 二次審査_STEP4_資源提供活用アンケート【DCON2026】

キャンセル 保存

資源提供・アドバイザー制度に関するアンケート

★一次審査通過 全チーム回答必須★
製作費3万円を含む資源提供をご利用いただく条件となっておりますため、必ずご回答をお願いいたします。

DCON2026 二次審査・プロトタイプ制作にご参加いただき、誠にありがとうございました。
今後の大会運営の参考とするため当アンケートにご回答をお願いいたします。
みなさんのプロトタイプ制作をサポートしてくださった企業や社会人の方々への御礼・フィードバックとしても活用します。
率直なご意見、ご感想をお聞かせください！

【お問い合わせ】

- 資源やアドバイザーの活用状況や利用にあたっての感想
- プロトタイプ制作時にほしいと思った資源やサポート
- プロトタイプ制作を行った感想 など

回答締め切り : 2026年1月13日（火）13:00

<STEP1～STEP4：提出締め切り>
2026年1月13日（火）13:00（厳守）



二次審査書類チェックリスト

抜け漏れなく提出できるように、
必ずチェックをしてから提出しましょう！

※二次審査説明会資料もあわせて確認しましょう！



[資料はこちら](#)



[説明会の動画はこちら](#)

提出物準備の確認

CHECK1

既定の形式で各ファイルを用意できているか確認しましょう

セルフ
チェック

- ① プロトタイプのデモ動画（ファイル形式：mp4）
- ② プロトタイプの説明資料（ファイル形式：PDF）
- ③ DLを用いた主要機能のソースコード（ファイル形式：zip）
- ④ 作品概要サマリー（テキスト）
- ⑤ チームの特長（テキスト）
- ⑥ チームの集合写真（ファイル形式：jpeg）
- ⑦ 課題解決への意気込み（テキスト）
- ⑧ メンタリングの希望（テキスト）

各ファイルのファイル名

CHECK2

各ファイルのファイル名は下記で用意しましょう

セルフ
チェック

- | | |
|----------------------------------------------|---------------------|
| <input type="checkbox"/> ① プロトタイプのデモ動画 | → 提出1_作品名.mp4 |
| <input type="checkbox"/> ② プロトタイプの説明資料 | → 提出2_作品名.pdf |
| <input type="checkbox"/> ③ DLを用いた主要機能のソースコード | → 提出3_作品名.zip (※1) |
| <input type="checkbox"/> ④ 作品概要サマリー | → (kintoneへ直接入力) |
| <input type="checkbox"/> ⑤ チームの特長 | → (kintoneへ直接入力) |
| <input type="checkbox"/> ⑥ チームの集合写真 | → 提出6_作品名.jpeg (※2) |
| <input type="checkbox"/> ⑦ 課題解決への意気込み | → (kintoneへ直接入力) |
| <input type="checkbox"/> ⑧ メンタリングの希望 | → (kintoneへ直接入力) |

提出時のファイル名

(※1) zipファイル内のソースコードファイル名に指定はありません。任意で設定してください。

(※2) 拡張子は.jpegもしくは.jpgいずれかで提出してください。

CHECK3 二次審査提出物の禁止事項・ルールを順守できているか確認しましょう

セルフ
チェック

- 技術的にできていることを説明資料・動画で表現した
- 「実装が完了していること」と「完了していないもの」をそれぞれ分かるようにした
- 実装が完了していないものは、現時点でできていることと本選までの完成見込みを示した
- デモ動画ではプロトタイプのハードや、モデルが動作している様子をリアルタイムで撮影した
- デモ動画の編集を行っていない（編集で結果を差し込むことは固く禁じます）
- 禁止事項1：「モックアップ／ハードコーディングの偽装」を行っていない
- 禁止事項2：「デモ動画での画像・動画の差し替え」を行っていない
- 禁止事項3：「実装範囲の誇張・虚偽の申告」を行っていない
- 禁止事項4：「外部APIの出力を自作モデルの結果と偽る行為」を行っていない

「提出物の禁止事項・ルール」は[こちら](#)を確認

内容チェック：① プロトタイプのデモ動画

CHECK3-① プロトタイプのデモ動画は規定どおり作成できていますか

課題解決アイディアの技術実装として、どのようなプロトタイプ（実機）を作ったか、実機はどこまで動作するのか。
説明・動作証明するデモ動画を作成、提出してください

セルフ
チェック

- ファイル容量：1GB以下
- ファイル形式：mp4
- 動画時間：5分以内
- 構成要素① 「作品概要／誰の、どのような課題を解決する、どんなサービス・プロダクトなのか」をいれた
- 構成要素② 「プロトタイプの動作証明／全体像、入力～推論～出力の一連の動作をリアルタイムで撮影した映像」をいれた
- 構成要素③ 「ディープラーニング技術実装の証明／バックエンドでプログラムの入力～出力の動作を撮影した映像（主要機能すべて）」をいれた
- 構成要素④ 「ハードウェア技術実装の証明／独自に製作・工夫した箇所を明確にし、その動作を撮影した映像」をいれた

①プロトタイプのデモ動画の詳細は **こちら** を確認

内容チェック：② プロトタイプの説明資料 -1-

CHECK3-② プロトタイプの説明資料は規定どおり作成できていますか

作品の事業コンセプト（課題設定・事業プラン）およびプロトタイプ（ディープラーニング・ハードウェアの技術活用）について、説明する資料を提出してください

セルフ
チェック

- ファイル形式：PDF、スライド形式（16:4）
- 構成要素「事業コンセプト（課題設定）」の説明をいたた
 - 誰の、どのような課題を解決するのか
 - どのような社会的意義、インパクトがあるのか
 - 課題、作品に取り組んだ動機、背景・理由
- 構成要素「課題解決アイディア、プロトタイプ」の説明をいたた
 - どのような機能を持つプロダクト・サービスをつくるのか
 - プロトタイプ（実機）の全体が分かる写真
 - プロトタイプ（実機）のシステム構成図

※ハードウェア、DLモデル（バッケンド）、UI（フロントエンド）の連携、入力装置～出力装置まで、どのようにデータを取りしているのか、全体のワークフローが分かるもの

>>次ページに続く

②プロトタイプの説明資料の詳細は[こちら](#)を確認

内容チェック：② プロトタイプの説明資料 -2-

CHECK3-② プロトタイプの説明資料は規定どおり作成できていますか

セルフ
チェック

構成要素「ディープラーニングの技術実装」の説明をいれた

- 使用したモデルと選定理由、学習データ・テストデータの収集方法
- DL実装の全体像がわかるパイプライン図
- 性能評価（指標、精度）

※データ収集や前処理～モデルの学習～モデルの性能評価～実際環境での利用・推論までの一連の流れを説明する図

構成要素「ハードウェアの技術実装」の説明をいれた

- 機構や構造において、自分たちで工夫した「ものづくり」のポイントが分かる図や写真
- 使用部品や製作工程、DL・ソフトウェアとの連携方法などの実装方法

構成要素「事業プラン」の説明をいれた

- 誰に、いくらで、どのように売るのか（単価、販売数、コストなど）
- 既存の類似サービスや競合他社の調査結果（具体的な企業、サービス名、内容）
- 競合優位性、強み（新規性・独自性）

②プロトタイプの説明資料の詳細は **こちら** を確認

内容チェック：③ DLを用いた主要機能のソースコード

CHECK3-③ DLを用いた主要機能のソースコードは規定どおり作成できていますか

プロトタイプの主要機能において、ディープラーニングの活用箇所に使用している深層学習モデルまたはプログラムのソースコードを提出してください。提出時にはすべてのファイルを一つのフォルダにまとめ、zipファイル（パスワードはつけない）にしてアップロードください。

ディープラーニング使用の確認が目的であり、システム全体のコードをアップする必要はありません（実際にプログラム動作の確認は行いません）

セルフ チェック

- テモ動画でコマンドラインを撮影したプログラムのソースコードを提出した
- ファイルが複数ある場合：すべてのファイルを提出した
- 学習用、推論用の両方のコードを提出した
- ファイルは一つのフォルダにまとめパスワードのないzipファイルにして提出した

③DLを用いた主要機能のソースコードの詳細は[こちら](#)を確認

内容チェック：④ 作品概要サマリー（テキスト）

CHECK3-④ 作品概要サマリー（テキスト）は規定どおり作成できていますか

初見の方でも、これを読むだけで作品概要を理解できる、サマリーテキスト（200文字以内）を提出してください。このテキストは、審査に加え、主催者及び主催者指定の第三者より各種媒体にて公開・利用します。

セルフ
チェック

- 文字数制限：200文字以内**
- 誤字・脱字がないか確認をした**
- 構成要素「作品に取り組んだ背景・理由」を記載した**
- 構成要素「誰の・どのような課題を解決する・どのような機能をもつプロダクトなのか」を記載した**

④作品概要サマリーの詳細は[こちら](#)を確認

CHECK3-⑤⑥ チームの特長、集合写真は規定どおり作成・用意できていますか

初見の方でも、チームの魅力が分かるように、チームの特長を紹介するテキスト（200文字以内）とメンバー全員が映っている、チームの雰囲気が分かる集合写真を提出してください。このテキスト・画像は、審査に加え、主催者及び主催者指定の第三者より各種媒体にて公開・利用します。

セルフ チェック

- 文字数制限：200文字以内**
- 誤字・脱字がないか確認をした**
- 構成要素「どのようなきっかけで集まったチームか」を記載した**
- 構成要素「メンバーの人数、役割分担」を記載した**
- 構成要素「チームの強み・弱み」を記載した**
- 構成要素「（あれば）これから追加したい役割、メンバー」を記載した**
- 集合写真ファイル形式：jpeg** ※iPhoneで撮影したものはファイル形式がHEICの可能性有、要変換

内容チェック：⑦課題解決への意気込み／⑧メンタリングの希望

CHECK3-⑦⑧ 課題解決への意気込み、メンタリングの希望は規定どおり作成できていますか

二次審査員（とくに面談選考）へのアピールとして、それぞれ200文字以内のテキストを提出してください。

セルフ
チェック

- 文字数制限：200文字以内
- 誤字・脱字がないか確認をした
- 「課題解決への意気込み」を記載した
- 「メンタリングの希望」を記載した



参考) 二次審査について

二次審査説明会資料より

二次審査の概要

プロトタイプ制作

一次審査を通過したアイディアから
**DL・ハードウェアを実装、
実際に動く実機を制作**

- <提出物>
- ・説明資料
 - ・デモ動画
 - ・DL ソースコード
 - ・チーム、メンバー構成
 - ・課題解決への意気込み
 - ・メンタリングの希望

二次審査 書類選考

アイディアがどこまで実装できたか
**DL・ハードウェアの技術を
重点的に審査**

→本選会場（渋谷）への招待

- <審査員>
- ・スタートアップのCEO・CTO、
技術部門の責任者クラス
 - ・10~12名程度を予定

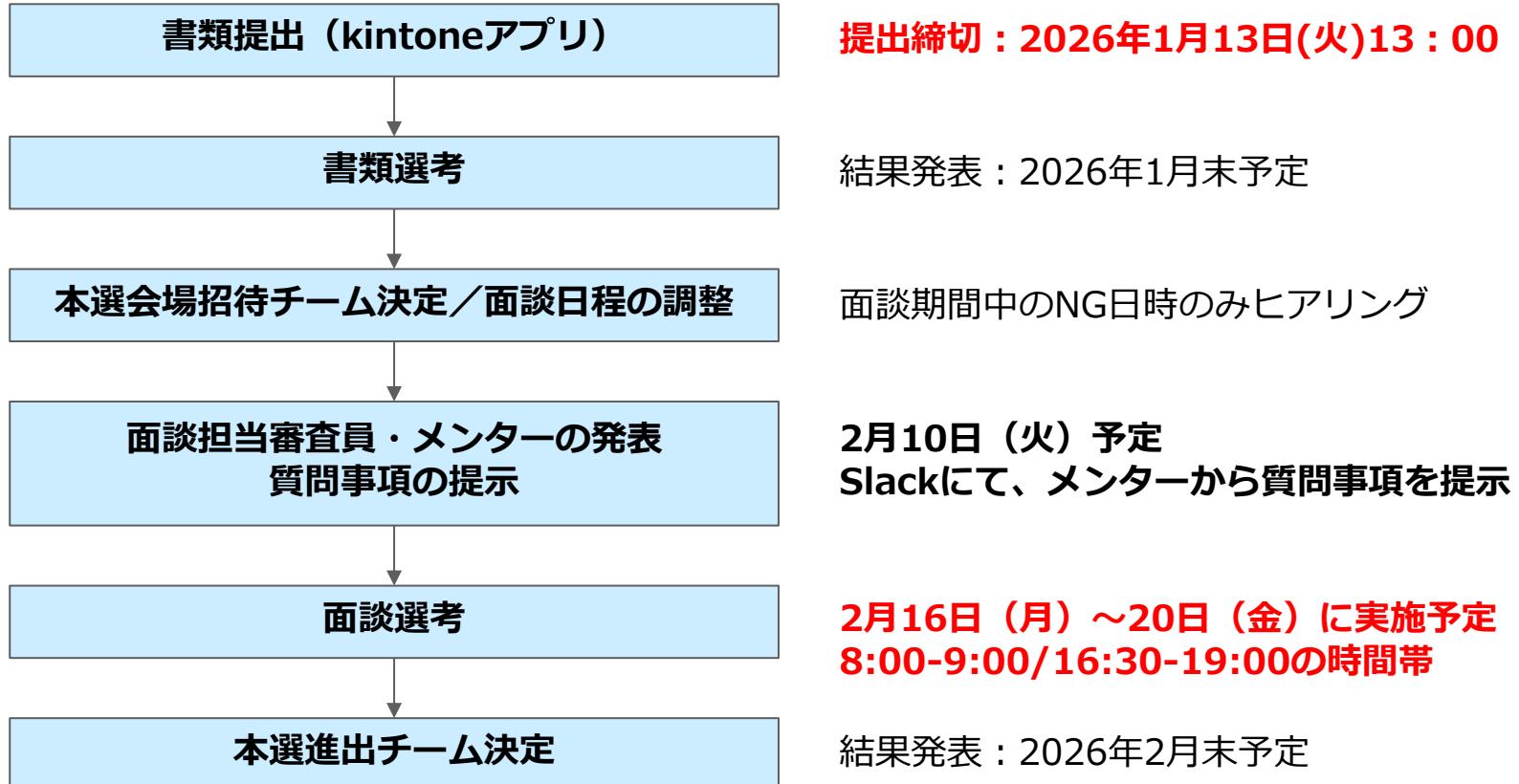
二次審査 面談選考

アイディア・技術が優れた作品から
**プロダクトと事業の将来性、
熱意・伸び代など総合的に審査**

→本選への出場権の獲得
(選外チームは、ポスター展示権)

- <審査員>
- ・スタートアップにて上場、大口
資金調達等を経験している
現役の起業家
 - ・本選チームのメンター
 - ・10名

二次審査のスケジュール



【最重視ポイント】

①技術の実装ができているか？プロトタイプが動くか？

- ・プロトタイプ全体：入力～推論～出力の一連の動作ができているか（ユーザー側から見た状況）
- ・ディープラーニング：バックエンドで、主要機能のプログラムの入力～出力が動いているか
- ・ハードウェア：独自に製作・工夫した箇所が明確で、その動作ができているか

②事業にインパクト、独創性があるか？

- ・誰の、どのような課題を解決するか？解像度高く、明確になっているか
- ・課題解決により、どのような効果・インパクトをもたらすか、示しているか
- ・市場や競合をリサーチし事業化について考えられているか、そこに独創性や将来性はあるか

二次審査（書類選考） 審査基準

以下の9項目を、5点満点で採点評価

審査基準	審査項目	審査の視点
事業コンセプト (課題設定)	課題解決の具体性と価値	課題設定は明確か？その課題に対し、価値ある解決策をプロトタイプとして具体的に形にできているか？
	課題の社会的意義・インパクト	プロトタイプによる課題解決がもたらすインパクトの大きさ、社会的意義が具体的に伝わるか？
	プロトタイプの一貫動作	ユーザー視点で、入力～推論～出力までの一連の操作が、意図通りに完結しているか？
ディープ ラーニング	ディープラーニング活用の 妥当性と意義	ディープラーニングでしか解決できない課題か？最適なDL技術を選択できているか？
	ディープラーニングモデルの ライブ動作証明	バックエンドでDLモデルがリアルタイムに動作していることを、動画で客観的に証明できているか？
ハードウェア	ハードウェアの必然性と独創性	課題解決のためにハードウェアは不可欠か？その構造や機構に独創的な工夫はあるか？
	ハードとソフトの連携動作	ハードウェアは安定動作し、DLを含むソフトウェアと連携して一連の機能を実現できているか？
事業コンセプト (事業性)	事業性	事業化・マネタイズの可能性を感じさせるものになっているか？
	競合優位性	競合と比べて明確な優位性・競争力を持っているか？

- ①事業とチームに、可能性が感じられるか？
- ②「一緒に作り上げたい！導きたい！」と思えるか？

面談選考の審査員・本選メンターのラインナップは、
後日、DCON公式サイトにて発表いたします。

なお、参考情報として、プロトタイプ制作における各種定量指標を
メンターに報告いたします

- ・資源提供の活用（申し込み資源、使用状況）
 - ・アドバイザーの活用状況（Slackでの相談、各種オンラインイベントへの参加状況）
- ※質問やアドバイスの内容については報告いたしません

①プロダクト、事業アイディアの将来性

- ・社会的意義、インパクト、市場性のある課題か
- ・課題解決のアプローチ（技術、ビジネス）に新しさ、オリジナリティがあるか
- ・事業としての将来性が感じられるか

②チームの「熱意」と「実現力」

- ・なぜ、そのチームがその課題を解決したいのか、できるのか
- ・課題解決の実現に向けた強い動機、熱量、やりきる意志を感じられるか
- ・実現に向けて必要な役割ができているか、チームとして機能しているか

③チームの「成長可能性」と「対話力」

- ・メンタリングによる、事業とチームの伸びしろを想像できるか
- ・指摘・フィードバックから学び、対話を発展させ、成長する姿勢が感じられるか



参考) 二次審査提出物について

二次審査説明会資料より

Kintoneの提出用アプリに、ファイルアップロードおよびテキスト入力して提出

- ①プロトタイプのデモ動画（ファイル形式：mp4）
- ②プロトタイプの説明資料（ファイル形式：PDF）
- ③DLを用いた主要機能のソースコード
- ④作品概要サマリー（テキスト）
- ⑤チームの特長（テキスト）
- ⑥チームの集合写真（ファイル形式：jpeg）
- ⑦課題解決への意気込み（テキスト）
- ⑧メンタリングの希望（テキスト）

二次審査 提出物の禁止事項・ルール

- 二次審査（書類）では、「技術の実装がどこまでできているか」をプロトタイプで審査します。
- どのような課題を、どのようなプロダクト・サービスで解決するか？プロトタイプはどのように動き、課題を解決するのか？分かりやすく表現してください。
- プロトタイプ審査提出時点で、技術的にできていることを、説明資料・デモ動画で表現してください。
- **実装が完了していること、完了していないものは、それぞれ分かるようにしてください。**
- 実装が完了していないものは、提出時点でできていること+本選5月までにどのような改善を行い、どこまで完成できる想定か、見込みを書いてください。
- **デモ動画は、「リアルタイム」で、プロトタイプのハードやモデルが動作している様子を撮影してください。編集で結果を差し込むことは固く禁じます。**
- **プロトタイプの技術実装について、以下の行為を禁止事項とします。発覚した場合、審査の対象外となるか、失格とします。**
 - ・ モックアップ／ハードコーディングの偽装
 - ・ デモ動画での画像・動画の差し替え
 - ・ 実装範囲の誇張・虚偽の申告
 - ・ 外部APIの出力を自作モデルの結果と偽る行為

①プロトタイプのデモ動画

課題解決アイディアの技術実装として、どのようなプロトタイプ（実機）を作ったか、実機はどこまで動作するのか？説明・動作証明するデモ動画を作成、提出してください。

- ・ファイル容量：1 GB以下
- ・ファイル形式：mp4
- ・動画時間：**5分以内**

・必須の構成要素：

- ①作品概要（誰の、どのような課題を解決する、どんなサービス・プロダクトなのか）
- ②プロトタイプの動作証明

全体像、入力～推論～出力の一連の動作を**リアルタイムで撮影した映像**

- ③ディープラーニング技術実装の証明

バックエンドでプログラムの入力～出力の動作を撮影した映像（主要機能すべて）

- ④ハードウェア技術実装の証明

独自に製作・工夫した箇所を明確にし、その動作を撮影した映像

※編集については、禁止事項・ルールをよく確認してください。

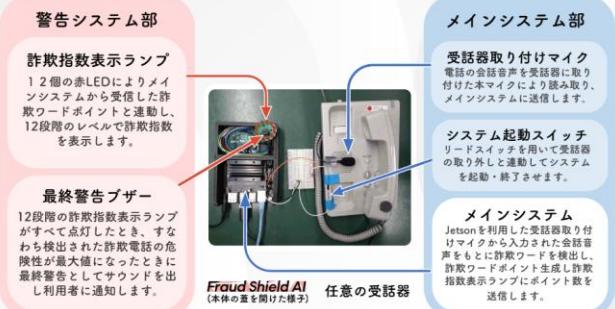
②プロトタイプの説明資料

- ・作品の事業コンセプト（課題設定・事業プラン）およびプロトタイプ（ディープラーニング・ハードウェアの技術活用）について、説明する資料を提出してください。
- ・図・写真など視覚的に伝わりやすい素材を活用し、分かりやすさを心掛けてください。
- ・特に、デモ動画では説明しきれない、
技術実装の詳細について丁寧に記述してください。
- ・実装できていること・できていないこと、
(想定の計画があれば、これからどう実装するのか)
を、明確に分けて、資料を作成してください。
- ・スライド形式（16:9）・PDFで提出ください。
- ・次ページの構成要素を必ず入れてください。

参考) 過去提出資料イメージ

2. プロダクトが実現する機能

本 **Fraud Shield AI** システムでは電話での詐欺被害を防止するために大きく『メインシステム部』と『警告システム部』の2つにより以下の機能をもたらします。



②プロトタイプの説明資料

【必須の構成要素】

- 事業コンセプト（課題設定）について
 - ・誰の、どのような課題を解決するのか
 - ・どのような社会的意義、インパクトがあるのか
 - ・課題、作品に取り組んだ動機、背景・理由
- 課題解決アイディア、プロトタイプについて
 - ・どのような機能を持つプロダクト・サービスをつくるのか
 - ・プロトタイプ（実機）の全体が分かる写真
 - ・プロトタイプ（実機）のシステム構成図
※ハードウェア、DLモデル（バックエンド）、UI（フロントエンド）の連携、
入力装置～出力装置まで、どのようにデータをやり取りしているのか、
全体のワークフローが分かるもの
- ディープラーニングの技術実装
 - ・使用したモデルと選定理由、学習データ・テストデータの収集方法
 - ・DL実装の全体像がわかるパイプライン図
 - ・性能評価（指標、精度）

②プロトタイプの説明資料

【必須の構成要素】

- ハードウェアの技術実装
 - ・機構や構造において、自分たちで工夫した「ものづくり」のポイントが分かる図や写真
 - ・使用部品や製作工程、DL・ソフトウェアとの連携方法などの実装方法
- 事業プラン
 - ・誰に、いくらで、どのように売るのか（単価、販売数、コストなど）
 - ・既存の類似サービスや競合他社の調査結果（具体的な企業、サービス名、内容）
 - ・競合優位性、強み（新規性・独自性）

③DLを用いた主要機能のソースコード

プロトタイプの主要機能において、
ディープラーニングの活用箇所に使用している深層学習モデルまたはプログラムの
ソースコードを提出してください。

- ・ デモ動画でコマンドラインを撮影したプログラムのソースコードを提出してください。
 - ・ DL活用した主要機能が複数ある場合は、すべて提出してください。
 - ・ 学習用、推論用の両方のコードを提出してください。
-
- ・ プログラム動作の確認は行いませんので、
システム全体のコードおよびデータセット等をアップロードする必要はありません。

【二次審査説明会時点からの変更点】

『コードのエクスポートができない場合、備考欄にその旨記載し、スクリーンショットをアップしてください。』と記載しておりましたが削除いたしました。
当件でお困りの場合には事務局までご相談ください。

④作品概要サマリー（テキスト）

初見の方でも、これを読むだけで作品概要を理解できる、
以下の要素を含む、サマリーテキスト（200文字以内）を提出してください。

なお、このテキストは、審査に加え、
主催者及び主催者指定の第三者より各種媒体にて公開・利用します。
(公式サイトでのチーム紹介など)

- ✓ 作品に取り組んだ背景・理由
- ✓ 誰の・どのような課題を解決する・どのような機能をもつプロダクトなのか

⑤チームの特長（テキスト）、⑥集合写真（jpeg）

初見の方でも、チームの魅力が分かるように、
以下の要素を含む、チームの特長を紹介するテキスト（200文字以内）と、
メンバー全員が映っている、チームの雰囲気が分かる集合写真を提出してください。

なお、このテキスト・画像は、審査に加え、
主催者及び主催者指定の第三者より各種媒体にて公開・利用します。
(公式サイトでのチーム紹介など)

- ✓ どのようなきっかけで集まったチームか
- ✓ メンバーの人数、役割分担
- ✓ チームの強み・弱み
- ✓ (あれば) これから追加したい役割、メンバー



⑦課題解決への意気込み、⑧メンタリングの希望

二次審査員（とくに面談選考）へのアピールとして、
それぞれ200文字以内のテキストを提出してください。

- ✓ 課題解決への意気込み
- ✓ メンタリングの希望

- 指定の提出物はありません。
- **書類選考通過・全チームを対象に、15分間の面談審査を行います。**
- 面談担当の審査員が決定した後、Slackにて、担当審査員から、面談で確認したいこと・質問が提示されます。
- **面談は、プレゼンは行わず、質疑を中心に進められます。**
審査員からの質問を確認のうえ、面談時間内で回答できるよう、ご準備ください。

本選出場チームは、担当メンターにより、

- ①本選プレゼンテーションの作成
 - ②事業プランの作成、③プロトタイプの改善
- について、メンタリング・指導を受けていただきます。

メンターはみなさんを最優秀賞に導くべく、
本気でメンタリングを行います。

指導を真摯に受け、メンターの知見をフル活用して
本選に臨みましょう！

参考) 本選 審査基準について

- 企業評価額
 - ・審査員5名が評価（プレゼン審査、サマリーシート、技術審査結果が評価対象）
 - ・チームを「会社」としたときの企業評価額（プレ評価）を算定
 - ・「円」で評価
- 技術性
 - ・技術審査員3名が評価
 - ・技術的新規性と技術的信頼性 それぞれ5段階評価
- 将来性
 - ・審査員5名が評価
 - ・チームおよび作品（製品・サービス）の成長の見込み
課題解決による産業全体への影響度など将来の期待度を5段階

参考) 本選 公式表彰について

- 最優秀賞：最も企業評価額が高いチーム
- 文部科学大臣賞：「技術力」が最も高いチーム
- 経済産業大臣賞：「将来性」が最も高いチーム
- 農林水産大臣賞：農林水産業において「技術力」「将来性」の合計が最も高いチーム
※農林水産大臣賞は、該当チームがない場合は該当無とする
- 企業賞

参考) 表彰順位の決定方法について

もしチームが企業だった場合の「企業評価額」の高さで、 表彰順位を決定する

- ・ 同額の場合、○札の数の多いチーム ※多くの選択肢を評価
- ・ 上記2つが同じ場合、企業評価額の“合計金額”が高いチーム
- ・ 上記3つが同じ場合は審査員による合議

「DCON2026」に関するお問い合わせ



DCON実行委員会事務局

担当：海野、澤田、鈴木、渡部

Slackチャンネル

dcon_2026二次_全体連絡-事務局へ質問

または

info@dcon.ai